



情報開示と リスクコミュニケーション

日本レスポンシブル・ケア協議会
企画運営委員
大日本インキ化学工業(株)
顧問 田中康夫



アウトライン

- 1. レスポンスブル・ケア(RC)年次報告書
- 2. RC監査・検証
- 3. RCの取り組み、当社の事例
 - ◆ 環境安全健康の理念と方針
 - ◆ 数値の推移
 - ◆ PRTR、廃棄物、省エネルギー
 - ◆ 実施した対策の事例
- 4. これからのRC



1. RC年次報告書

- 1996年から発行、2000年度は60%に
- 環境省のガイドライン
- 化学物質の安全
- 絶対値での表現
- サイトも発行
- 事故・災害
- 市民から: 平易、対策、効果、外部影響
- 表彰への応募...コメントを



2. RCの監査・検証

- 内部監査
- トップによる確認監査
- 専門家の検証のパイロット
 - ◆ 実施した対策の妥当性
 - ◆ 化学物質の安全評価の検証
- 自主活動(RC)の担保
 - ◆ リスクコミュニケーションで



3. RCの取り組み 当社の事例

- 理念と方針(別紙)
- 数値の推移(別のグラフ)
 - ◆ PRTR、廃棄物、エネルギー
- 実施した対策の事例
 - ◆ エンドパイプからインプラントに
 - ✦ プロセスの変更
 - ✦ 複合発電



PRTRの状況

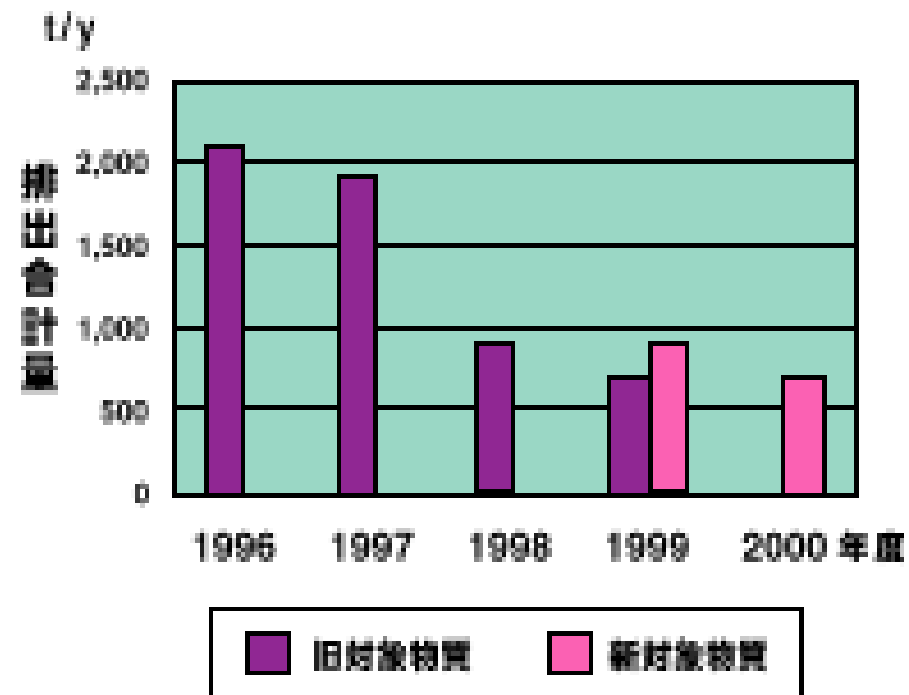


図13 環境汚染物質総排出量の推移



廃棄物の状況

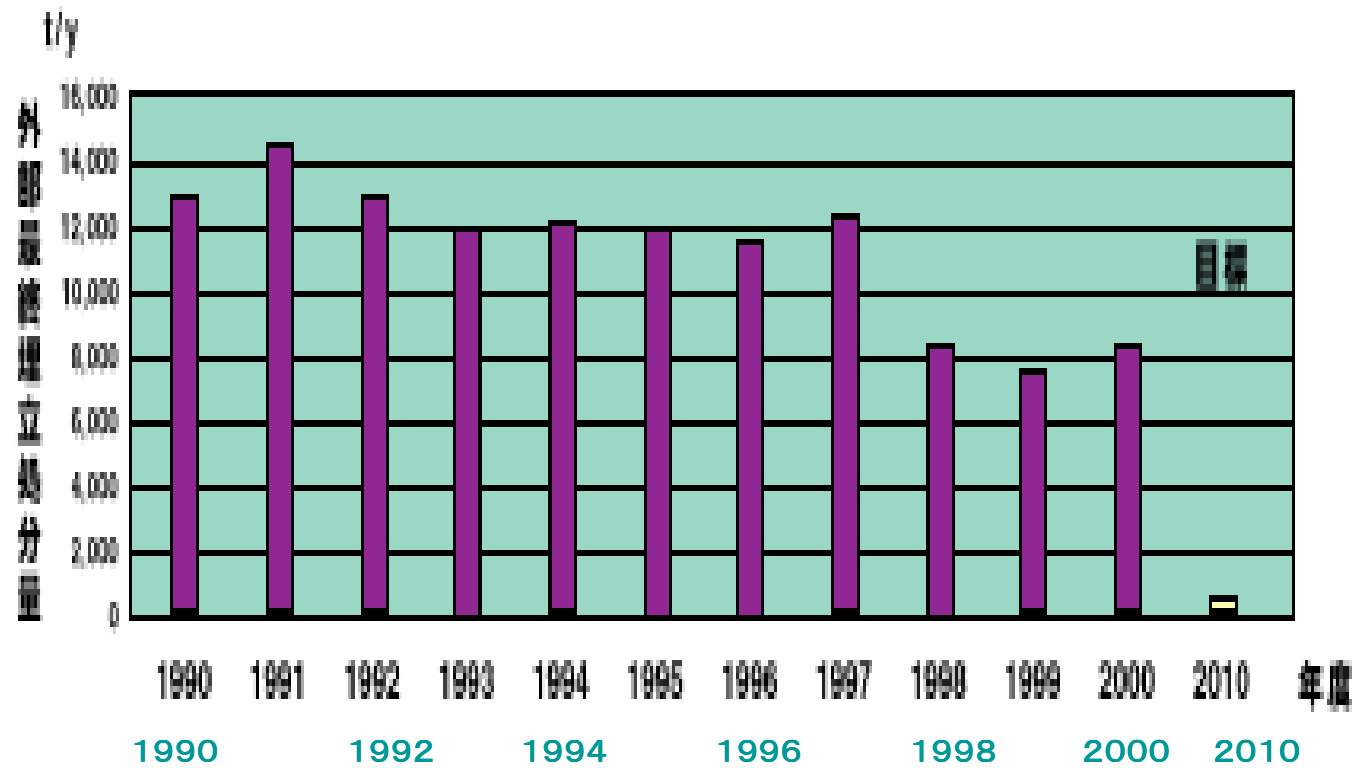


図12 産業廃棄物の外部最終埋立処分量の推移



省エネの状況

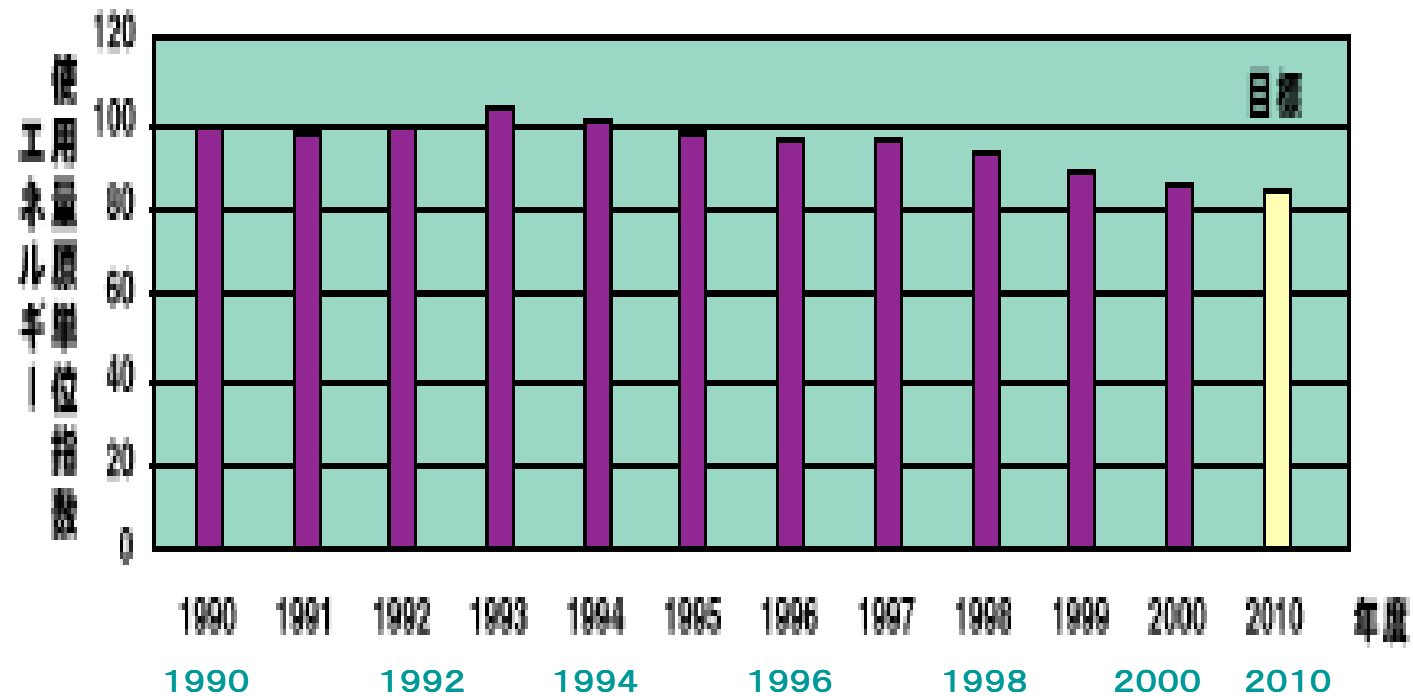


図11 エネルギー使用量(原油換算)の原単位指数推移 (1990年度=100)

..



4. これからの レスポンスブル・ケア

- 「環」のコミュニケーションを通じて
- 分かり易い情報の提供
- 倫理的な行動の継続を
- 化学物質の安全に、更に強く
 - ◆ 研究者
 - ◆ 大学の化学科の近くで安全の研究を
- 持続可能な発展に貢献